

令和3年度ふるさと創生NPO活動応援事業報告書

団体名	NPO法人大分県協育アドバイザーネット	
<p>1. 事業内容について、進捗状況報告書をまとめるような形で記載してください。</p> <p>(1) 概要</p> <p>令和2年度の本補助金事業を発展すべく、コミュニティ・スクールの導入と地域学校協働本部の整備に関して、本NPO法人に求められた支援として、具体的な全国の事例集の作成、及び事例集等の資料を活用した研修事業を実施した。訪問型研修会は6市町教育委員会の要請があったが4市町（2市町はコロナの関係で6月に延期）で実施、全県対象研修会ではコロナの拡大にもかかわらず62名の参加申込みがあった。コロナの関係で無観客開催として、発表・報告の関係者による「プレゼン動画の撮影会」として実施し、後日資料の送付と動画の視聴の連絡を行う事にした。</p> <p>(2) 事業内容の詳細</p> <ul style="list-style-type: none">・国はコミュニティ・スクール（学校運営協議会制度を導入した学校）の導入を進めており、大分県は令和3年5月の調査で公立小中学校への導入状況は84.7%、「地域学校協働本部」の実施市町村の状況は96.7%となっている。・大分県教育委員会では、コミュニティ・スクールの導入について、学校運営協議会の役割や活動を本来目指す活動にしていくこと、地域学校協働本部による協働活動を推進する取組については、コミュニティ・スクールと地域学校協働活動の効果的な連携を促進するために「地域とともにある学校づくり」推進協議会を開催するなどしている。・学校運営協議会が関わっている学校教育の4つの課題と地域学校協働本部の1つの課題として①地域学校協働活動の総合的な推進②教職員の働き改革への対応③地域（社会）に開かれた教育課程の作成への対応④コロナ禍の中での教職員の業務の肥大化への対応⑤コーディネーターによるネットワーク化・組織化、に整理し、関係機関等の協力を得て、昨年度事業において要望があった「どんな事例が・・・」に対応した以下の2つの事業を行った。 <p><主な作成資料></p> <ul style="list-style-type: none">① 学校と地域の新たな協働（協育）～「二歩前進！事例集」500部② 「一歩前進！ヒント集」と「二歩前進！事例集」の概要編130部③ 動画：別府市立石垣小学校学校の働き改革に関するインタビュー動画 動画：令和3年度補助事業の研修会の動画 「5会場の概要編動画」 「全県対象研修会の6本の発表・報告プレゼン動画」 <p><研修会の実施></p> <p>1) 2月26日（土）に全県的な実践者を対象にした交流・研修を実施することとし、コロナ禍の中、62名の参加申込みがあったが、コロナの関係で実践報告者等の関係者のみで無観客でのプレゼンビデオ撮影会とした。（参加申込者にはプレゼン資料を送付し、動画の情報提供を行うこととしている。</p> <p>テーマ：「事例から、協育ネットワークと学校の協働の仕組みを考える」</p> <ul style="list-style-type: none">① 基調報告 NPO法人大分県協育アドバイザーネット 中川忠宣 理事長 テーマ：<全国版>「二歩前進！事例集」の報告② 実践報告 佐伯市立明治小学校校長 大分県社会教育委員 伊東俊昭氏 テーマ：「二歩前進！事例集」から明治小学校の取組を振り返る③ 協働活動を推進するコーディネーターの取組発表		

- ・ 玖珠町（岩尾純子氏）旧玖珠中学校協育コーディネーターの取組
テーマ：地域総ぐるみで子どもを育てる地域学校協働活動について
- ・ 別府市（藤内教子氏）中部中学校区統括コーディネーターの取組
テーマ：「地域とともにある学校」「学校とともにある地域」をめざして
- ・ 由布市（園田暁子氏）挾間中学校区統括コーディネーターの取組
テーマ：学校と地域の連携について～子どもと一緒に楽しもう、地域に感謝！」

④実践報告

岡山県浅口市立寄島小学校校長 文科省CSマイスター 安田隆人氏

テーマ：寄島学園コミュニティ・スクールと連動した学校経営戦略

～地域との連携協働の必要性和可能性～

2) 6市町からの訪問研修の要請があり以下のように実施した。

○日出町：中央公民館 11月22日（月）14:40～16:30（21名）

テーマ：「学校運営協議会の役割について」

～教職員の心と時間的なゆとりから生まれる教育の質の向上を目指して～

○中津市：三光コミュニティセンター11月30日（火）14:40～16:30※（46名）

テーマ：「コミュニティ・スクールによる教育の質の向上をめざして」

～教職員の働き方改革の視点から～

○津久見市：市民図書 12月20日（月）15:00～16:30（10名）

テーマ：「教職員の心的・時間的ゆとりを生み出す学校運営協議会の役割」

○別府市：市役所ホール 12月27日（月）10:30～12:00（20名）

テーマ：「教職員の心的・時間的ゆとりを生み出す学校運営協議会制度の役割」

※コロナの関係で玖珠町と国東市は次年度に延期することとした。

2. 事業を実施している様子等が分かる写真

3. 事業終了後も、その効果や結果が継続されるために、組織としてどの様に体制や対応をしていくのかについて記載してください。

(1) 本取組から見てきたこと

当法人が取り組みたいと構想していた事業を2年継続した本補助金事業によって実施でき、関係者のネットワークや県内市町村教育委員会等の協力を得て資料や研修会の事業ができたことは、本法人の社員等（本事業関係者11名）によるネットワークである。また、令和2年度の訪問型の研修会実施は2市町であったが、今年は6市町からの要請があり、市町村教育委員会が研修の必要性を感じていることも分かった。

(2) 本取組の有効性

コロナ禍の中で、本事業において訪問型研修（参加者の合計97名）が、実践事例の取組を基にしたアドバイスによって、課題への対応が具体的に進み始めるという効果を目指して研修会等を実施したが、研修会の効果についての複数の問いではほぼ100%の「有効であった」「参考になった」等の評価を得た。

(3) 取組の継続

コミュニティ・スクールの導入（学校運営協議会の設置）と、地域学校協働本部の整備、さらに2つの取組の一体的な推進による「地域とともにある学校づくり」は、教育行政として最重要課題である。今回の取組から、教職員等が具体的な取組の方向性を認識できたことが分かる。よって、新型コロナウイルスの収束に沿って、今回作成した資料を活用して多くの関係者への草の根的なコンサルティング活動を継続していきたいと考えている。

訪問型研修会

別府会場



日出会場



津久見会場



中津会場

